

(報道資料)

データ処理能力向上と事業継続リスク低減に向けて生産拠点を新設 - 新潟市に空間情報処理センターを開設 -

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）は、人工衛星や航空機、車両やドローンに搭載した最先端の測量・計測技術を使って、地上のあらゆる事象を高精度・高精細に収集し、加工・解析処理を加えることで、社会の課題解決に向けたサービスを創出・提供しています。

測量・計測技術によって収集する画像データや3次元座標点群データは、技術の進歩により高精度化・高精細化しており、データ容量も増大しています。そこで、データ処理設備の充実と処理・生産プロセスを改革し、データの信頼性向上と生産性向上の両立を図るため、新潟県新潟市に、新たな空間情報処理センターを開設します。

さらに、すでに運用している沖縄県糸満市の空間情報処理センターとの並行運用によって、処理能力の向上と事業継続リスクの分散を図ります。



空間情報処理センター入居予定のビル外観

■ 空間情報処理センターについて

衛星画像、航空写真、3次元座標点群データなどの計測成果を、国土管理やインフラ管理、災害・環境対策などの分野で利活用するためのデータ処理センターです。



人工衛星画像データ



航空写真データ



3次元座標点群データ

名称：株式会社パスコ 空間情報処理センター
所在地：新潟県新潟市中央区万代四丁目4番27号
NBFテレコムビル5階・6階
人員：15名（開設時）
2022年度末には約40名
2026年には75名まで拡大予定
開設予定：2022年7月予定



3次元地形データ処理の様子(沖縄)

< 予定している業務内容 >

① データエントリー業務

国や地方自治体などで利用される、さまざまなデジタル地図の制作を行います。

② 空間情報の解析業務

国土の 3 分の 2 を占めるといわれる森林の保全や活用のため、AI や GIS 技術を駆使した樹種判読や森林資源解析などを行います。また、空間情報データの精度を保つため、撮影された航空写真の位置と傾きの関係について解析などを行います。

③ 空間情報の技術開発

写真地図（オルソ画像）作成および航空レーザ計測データの加工処理における、更なる高度化・自動化を目指します。また 3 次元化処理の効率化に向けた技術開発を併せて進めていきます。

■ 株式会社パスコについて

(2022 年 3 月 31 日現在)

創 業： 1953 年 10 月 27 日

本 社： 東京都目黒区下目黒 1-7-1 パスコ目黒さくらビル

資本金： 87 億 5,848 万円

株式上場： 東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：9232）

連結売上高： 565 億円

グループ従業員： 2,828 名

親会社： セコム株式会社

拠点： < 国内 >

国内 47 都道府県に支店・営業所を配し、主要 6 都市（仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡）に生産拠点を置き、生産体制を充実しています。

< 海外 >

タイ、フィリピン、インドネシアなどに拠点を置き、世界の空間情報ニーズに応えています。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関)

広報部

<https://www.pasco.co.jp/>

press@pasco.co.jp

プレスリリースの内容は発表時のものです